

DREAMING No.5

令和6年5月31日
長崎市立福田小学校
学校だより
校長 寺田 成広

心を満たし、夢や願いを叶える学校 ～見つめよう 認めよう～

運動会での子どもたちの姿を見て

26日(日)実施の運動会には、休日の中にたくさんの保護者・地域の皆様にご来校いただき、子どもたちへの温かい声援や拍手を送ってくださりありがとうございました。

開会式の挨拶でも触れましたが、週間天気予報では雨の確率が高く、子どもたちも職員も気をもむ日々でした。しかしながら、雨の降りだす時刻が少しずつ後ろにずれ、また雨の量も少なくなっていました。結果的には五月の爽やかな風が吹く絶好のコンディションの中で実施ができました。

世界的に気温が上昇している昨今、何より心配なのが「熱中症」です。また熱中症まで進まなくとも、気温上昇による子どもたちの体調不良、それによってこれまで積み上げてきた練習の成果が出せなくなることも避けたいことです。

会の終盤は若干日差しが強くなりましたが、参加した子どもたち全員が無事に競技や演技、開閉会式を乗り切ったことは何より良かったことです。

さて、肝心の競技・演技ですが、練習を見て、また担任から聞いたり、学年・学級だよりを読んだりしていたので子どもたちの頑張りはある程度予想できていました。しかしながら、本番はその予想を上回る気持ちや動きの良さを感じ、福田小の子どもたちの能力に感嘆しました。各学年の発達段階や持ち味がいかんなく発揮されていて、あらためて「子どもたちの活躍する姿はいいな。ますます伸びていくような学校にしたいといけなな。」と思いました。

運動会という大きな行事は終わりましたが、今年度はまだ10か月あります。今後の本校の教育活動が、一人一人の子どもに寄り添いながら、集団としても高まっていくものとなるように職員一同努めていきます。引き続きご理解とご協力をお願いします。



運動会の HP をまだご覧になっていない方はこちら ⇒ <https://x.gd/zGluh>

話は少し変わりますが、運動会などの練習の成果を披露する場は、これまでにお伝えした人間の基本的欲求の「所属・愛情の欲求」や「承認の欲求」を満たす絶好の機会となります。この際には、子どもさんのとった言動をなるべく具体的に出して、その言動の良さを伝えることが大切です。(言動の価値付け)

例えば、短距離走では、「よく走ったね。」より、「ピストルの音をしっかり聞いてスタートできたね。」や「レーンをはみ出さずに走ったね。」、「スタートからゴールまでスピードが落ちなかったね。」などの言葉掛けになります。(できて当たり前だとは思わずに言動を取り上げることがポイント)

表現運動では、「上手に踊ったね。」よりも、「肘がよく伸びていて、動きが大きく見えたよ。」、「跳ねるように膝を動かしてリズムに乗っていたね。」、「掛け声の時に口が大きく開いていたのでよく声を出していることが分かったよ。」、「ソーラン節で櫓こぎの手首の使い方が良かったよ。」などです。

併せて、「そんな姿を見て、とってもうれしかったよ。」などの言葉を付け加えると、自分の言動が家族の心を動かしたことが分かり、自己有用感や今後の自信につながります。